

# 山野井たかし後援会だより

## No.47

後援会連絡所	〒323-0807 小山市城東3-14-5 0285-20-5000	発行責任者	津布久 正夫
ホームページ	<a href="http://homepage3.nifty.com/yamanoi-takashi/">http://homepage3.nifty.com/yamanoi-takashi/</a>	編集者	山野井 孝
メールアドレス	yamanoi.takashi@tvoyama.ne.jp	発行日	2014年10月8日

日頃からの皆様のご支援に、心より感謝申し上げます。

市民が安心して暮らせる小山市をめざして、取り組んでまいりますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

平成26年第3回定例会が、9月1日から26日の日程で開催されました。上程された議案は32件であり、全ての議案が原案通り可決されました。また、集団的自衛権に反対する陳情2件が、13対15の僅差で不採択となりました。

また、平成25年度小山市一般会計歳入歳出決算の認定については、継続審査として10月16・17日に改めて決算審査特別委員会を開催し、審査することになりました。



9月議会で質問する山野井議員

### 【主な議案】

#### <平成26年度小山市病院事業債管理事業特別会計補正予算（第一号）>

新小山市民病院において、心臓外科手術を実施するために必要な医療機械器具を整備するため、新小山市民病院に3億円を貸し付ける補正予算が上程されました。

その財源は、病院事業債ですが、新小山市民病院が平成28年1月に開院を予定している新病院として成功するために必要なものであり、やむを得ないものと判断して原案通り可決しました。

#### <平成25年度各特別会計および企業会計の決算について>

特別会計10事業および企業会計1事業の決算が認定されました。

特別会計・企業会計		歳入	歳出
小山市国民健康保険特別会計		172億5,332万円	161億6,591万円
小山市介護保険特別会計		92億2,907万円	90億2,994万円
小山市後期高齢者医療特別会計		13億0,188万円	12億9,717万円
小山市病院事業債管理事業特別会計		4億4,234万円	4億4,234万円
小山市墓園やすらぎの森事業特別会計		1億8,894万円	1億0,200万円
小山市与良川水系湛水防除事業特別会計		3,724万円	3,152万円
小山市農業集落排水処理事業特別会計		5億4,194万円	5億3,696万円
小山市第四工業団地造成事業特別会計		2億8,994万円	2億8,994万円
小山市公共用地先行取得事業特別会計		1億8,166万円	1億8,166万円
小山市公共下水道事業特別会計		47億8,086万円	46億2,403万円
小山市水道事業	収益的収入支出	27億1,384万円	23億6,627万円
	資本的収入支出	1億1,116万円	9億3,888万円

#### <友好都市の締結について>

小山市では、隣接する『茨城県結城市』と友好都市の提携に関する盟約を締結することを表明し、今後目指していく定住自立圏構想に向けた取り組みを進めていくとしています。

小山市と結城市が歴史的にも強いつながりがあり、これまで交流を続けてきました。

特に『ユネスコ世界遺産』に登録された、『本場結城つむぎ』は、両市に長く引き継がれてきた、貴重な財産であり、両市が連携して守っていかなければなりません。

全国でも初めての隣接した両市の友好都市締結が、形式的なものでなく両市の発展に繋がり、将来的には合併を視野に入れたものとなるように、要望等を行っていきます。

## 【市政一般質問】

### ＜都市整備について＞

Q：小山駅東口新駅前広場が完成し、歩行者、自転車、送迎の車が交差するように通行している。当初の計画通り歩行者の安全確保のため、ペDESTリアンデッキを整備する考えはあるか？

A：交通量調査の結果、歩行者や車両の通行に支障が生じるまでには至っていない。今後は、駅東口周辺地区の土地利用の動向を踏まえ、定期的に交通量を調査し費用対効果を含め検討する。



小山駅東口新駅前広場

### ＜道路整備について＞

Q：県道小山結城線の拡幅・歩道整備の進捗状況、今後の整備計画について伺いたい。□

A：平成25年度までの進捗率は95%。NTT前の未整備区間90mについては本年度着工すると聞いている。自転車や歩行者の安全確保のため、県に対して早急な整備をお願いしていく。

Q：市道262号線（コマツ西側）の側溝及び歩道の整備状況と今後の計画について伺いたい。

A：現在東側の側溝整備を実施しており、今年度140mを整備、残り280mも順次整備する。歩道整備については、側溝の整備が完了後、交通状況を見ながら整備を検討していく。

Q：通学路でもある、県道栗宮喜沢線の歩道未整備区間の安全対策について伺いたい。

A：喜沢地区のうち515mが歩道無となっている。平成24年度に組織された『まちづくり研究会』の皆さんとともに、歩行者や自転車の安全対策について、県と検討していく。



歩道のない県道栗宮喜沢線

### ＜公共交通について＞

Q：コミュニティバスについて、低床バスの導入状況と今後の配置計画について伺いたい。□

A：10月より高岳線に大型低床バスを導入し、高岳線の車両を城東中久喜線に、城東中久喜線の車両を大谷中央線に入れ替え、大谷中央線も中型バスから低床バスに移行する。

### ＜スポーツ支援について＞

Q：スポーツ出場祝金について、『関東大会』3,000円『全国大会』5,000円を増額できないか。

A：今年度、小山市では県内唯一議会の議決を得て『スポーツ都市宣言』をした。小山市を代表し、全国大会等へ出場する子供たちと保護者の経済的負担の軽減のため祝金制度の拡充を検討する。

### ＜交通安全対策について＞

Q：国道50号、小山(東)T字路の信号の改良などによる安全確保について伺いたい。

A：北進車の直進での駐車場への進入は信号機の改良による右左折表示などを検討する。店舗からの国道への直進・右折については、駐車場への禁止表示等、店舗関係者に協力をお願いする。

Q：自転車で危険な運転を繰り返す高校生や高専生などに対する交通安全教育や取組みを伺いたい。

A：小山警察署による交通安全指導が毎年市内の高校・高専で実施されている。今後も、警察による交通安全指導の強化、市より直接高校等へ出向き、啓発活動を行っていく。

### 【総務常任委員会行政視察】

10月1～3日に総務常任委員会の行政視察に行きました。

視察先及び視察の内容は以下の通りです。

#### ①福岡県古賀市：『補助金改革実行計画について』

小山市では年間30億円を超える補助金を拠出しています。補助金を有効的なものとするため、改革の取組んだ同市を視察し、経緯や取組みについて研修しました。

#### ②山口県下関市：『空き家の適正管理に関する条例について』

『小山市老朽危険空き家の適正管理に関する条例』を実効性のあるものにするため、同条例の先進地である下関市を視察し、空き家の把握、補助金制度などについて研修しました。

#### ③福岡県大牟田市：『定住自立圏構想について』

小山市では、下野市・野木町・茨城県結城市と定住自立圏をめざしています。定住自立圏の先進地である同市を視察し、実現に向けての課題や取組み方などについて研修しました。



福岡県古賀市での視察